

平成29年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市民芸術文化会館】

施設名	新潟市民芸術文化会館		
管理者名	(公財)新潟市民芸術文化振興財団	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課		
所在地	区名	中央区	住所 一番堀通町3番地2
根拠法令	-		
設置条例	新潟市民芸術文化会館条例		
施設概要	設置：平成10年10月 施設規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、延床面積25,099.9㎡ 施設内容：コンサートホール(1,994人)、劇場(898人)、能楽堂(382人)、スタジオ(2室)、練習室(8室)、ギャラリー、展望ロビー、新津記念室 料金区分：午前、午後、夜間、全日の区分で場所ごとに料金を設定している。		

施設設置目的	
音楽、演劇、能その他の舞台芸術の振興を図り、もって市民文化の向上に資する。	

管理・運営に関する基本理念、方針等	
1	理念 芸術、芸能文化の継承と発展
2	期待される機能 【本質的な機能】 ・舞台芸術の振興 ・芸術文化活動の普及振興 【発展的機能】 ・都市の魅力の向上 ・良好な都市イメージを発信することによる、交流人口の拡大、経済波及効果の増大など
3	基本的使命 ① 市民の文化活動への支援 ② 質の高い専門性に富んだ芸術を鑑賞する機会の提供 ③ 文化を支える人材の育成 ④ 地域に根ざした文化創造

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント		
市民	1 基準稼働率の達成	コンサートホール稼働率	89.0%以上	85.2%	C	コンサートホールの稼働率は前年よりも改善しているものの、いずれのホールでも目標値を下回った。より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。	
		劇場稼働率	78.0%以上	77.3%	C		
		能楽堂稼働率	47.0%以上	38.6%	C		
	4	基準利用者数の達成	年間利用者数237,000人以上	257,654人	A	目標を2万人以上上回っており、評価できる。	
	5	文化事業年間鑑賞者数	自主文化事業の年間鑑賞者数が、104,000人以上	109,576人	A	目標を5千人以上上回っており、評価できる。	
	6	貸館利用者に対するサービスの提供	対応マニュアルを設置し、利用者の安全と満足度を意識したサービスの提供をしているか。	担当者・担当窓口を設置し、マニュアル等を基本としつつ、舞台装置の操作助言を行うなど、利用団体の特性や公演内容などに配慮した柔軟なサポートやサービスを提供している。	A	利用団体の特性や公演内容等に配慮した柔軟なサポートやサービスを提供している点が評価できる。	
	7	貸館利用者の意見やニーズを聴取する仕組みの有無	実施していること	貸館利用報告書とアンケートが一体となっており、利用者の意見を聴取しやすい取り組みを行っている。	A	報告書やアンケートに工夫が見られ評価できる。	
	8	貸館利用者(主催者)満足度	貸館利用者の満足度調査で、90%以上	99.1%	A	非常に高い満足度で、評価できる。	
	9	文化事業公演年間公演回数	自主公演の年間公演回数が、102公演以上	292公演	A	目標を大きく上回り、評価できる。	
	10	文化事業公演鑑賞者の意見やニーズを聴取する仕組みの有無	実施していること	すべての公演でアンケートを実施し回収結果を整理のうえ事業担当者、管理職が情報共有している。	A	事業担当者及び管理職がしっかりと情報共有している点が評価できる。	
	11-14	文化事業公演等の鑑賞者の満足度	創造系作品鑑賞者の満足度調査	90%以上	97.9%	A	非常に高い満足度で、評価できる。
			鑑賞系公演鑑賞者の満足度調査	90%以上	97.2%	A	
			普及系公演鑑賞者の満足度調査	90%以上	100.0%	A	
			育成系公演鑑賞者の満足度調査	90%以上	99.7%	A	

	15	ワークショップ数・アウトリーチ回数	育成系事業ワークショップ数・アウトリーチ回数が、年間48回以上	82回	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	16	ワークショップ数・アウトリーチ回数	普及系事業ワークショップ数・アウトリーチ回数が、年間17回以上	52回	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	17	育成系事業延べ参加者数	育成系事業の延べ参加者数 ジュニアオーケストラ(130人)、ジュニアコーラス(90人)ジュニア邦楽(30人)アプリコット(50人)以上	ジュニアオーケストラ 104人 ジュニアコーラス 129人 ジュニア邦楽 36人 アプリコット 54人	B	
	18	創造系事業の実施	年間公演回数が、27回以上	42回	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	19	創造系事業市外公演回数	年間公演回数が、17回以上	23回	A	目標を上回り、評価できる。
	20	公演や催し物情報の情報発信	下記の取組をしているか。 ①ホームページ、②メールマガジン、③テレビ・ラジオ、④新聞、⑤雑誌、⑥機関紙	全て取組あり	A	積極的な情報発信を行っている点が評価できる。
	21	地域アピールに関する取り組み	活動と成果を、地域内外に積極的に広報しているか。	アプリコット 北区公演 他 演劇事業(新潟発創造) 東京公演 他 Noism 埼玉公演 他	A	地域内外に積極的にアピールしている点が評価できる。
	22	会館記事の新聞掲載件数	名称や事業名等が新聞等に掲載された件数が年間130件以上	139件	B	
	23	会館会員サービス、チケット販売サービスに関する取り組み	下記の取組をしているか。 ①会員先行予約・優先予約制度、 ②チケット購入者への駐車場割引、 ③チケット割引制度、④セット券の販売、⑤カード決済⑥会員への機関紙の送付	すべて取組あり	A	サービスに関する様々な取り組みを行っていた点が評価できる。
	24	会館会員数の確保	年度末を基準として、5,400人以上の会員数の確保	5,051人	C	目標を下回っているため、会員数増加のための更なる周知に努めて欲しい。
25	ホスピタリティに関する取り組み	職員にホスピタリティ向上の必要性を徹底するとともに、利用者側に立ったサービスの提供をしているか。	①ホスピタリティ向上の必要性をスタッフに徹底している。 ②職員の服装や身だしなみ、挨拶の励行を徹底している。 ③客席案内やもぎりなどのサービスに努めている。 ④利用者の意見を収集している。 ⑤ホームページやチラシに館のアクセス経路や問い合わせ先をわかりやすく掲載している。	A	ホスピタリティ向上の為に様々な取り組みを行っている点が評価できる。	
財 務	1	文化事業 自主財源比率	自主財源比率 60%以上	72.6%	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	2	文化事業収入拡大に関する取り組み	事業担当者が、必要に応じて営業活動を行い、事業収入の拡大に取り組んでいるか。	事業担当者が及び営業の担当者が、積極的にチケットの販売経路や顧客開拓、利用者拡大のための営業活用等を行い、事業収入の拡大に努めている。	A	事業収入の拡大に向けた積極的な取り組みを行っている点が評価できる。
	3	外部資金導入額、導入率、外部資金導入に関する取り組み	外部資金の必要性を検討し、必要に応じて情報収集を行い、都度外部資金の獲得に取り組んでいるか。	外部資金を戦略的に捉え、日頃から助成金の情報収集や企業に協力・協賛を依頼できる関係づくりを行い、積極的に外部の資金の獲得・活用に努めている。	A	積極的に外部の資金の獲得・活用に努めている点が評価できる。
	4	経費の削減	指定管理料(管理経費・事業費補助)を年度協定額及び交付決定額以下に抑える。	指定管理料 予算 603,643,000円 決算 597,085,220円 事業補助金 予算 180,000,000円 決算 145,374,510円	A	事務の効率化により、大きく経費を削減しており、評価できる。
	5	市の歳入の増加	使用料収入 48,300千円以上	47,504千円	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
業 務	1	長期的な視点にたった管理施設の保全	長期修繕計画を作成し、必要に応じて見直しを行う。	長期修繕計画がある	B	
	2	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	消防訓練、防災訓練を実施している。緊急時の迅速に、責任体制、マニュアル及び連絡網が整備されている。	A	消防訓練、防災訓練を実施し、責任体制、マニュアル等も整備されている点が評価できる。
	3	事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底	AEDの操作訓練を実施している。	B	
	4	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	5	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	6	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	B	
	7	運営方針・事業目標の位置づけ	自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか。	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、劇場・ホール等の事業や運営の指針となっており、達成目標が明確である。	A	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、達成目標が明確である点が評価できる。

	8	運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針をホームページに掲載し、評価のためのアンケートを実施しているか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	9	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	自館の設置目的、基本的使命に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立てているか。	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立てている。	A	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善を行っている点が評価できる。
	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	市と定期的なミーティングを実施しており、運営方針を踏まえながら、経費の節減や経営の効率化に取り組んでいる。	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	財団内に個人情報保護規定があり、研修が実施されている。	B	
	12	当該施設の管理に関する関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	内部研修を行っている。	B	
	13	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反に該当する問題はなかった。	B	
	14	他の公立館との共同・連携企画の有無・回数	共同・連携公演の企画が年間3つ以上	12企画	A	目標を大きく上回り、評価できる。
人材	1	専門性の高い人材の配置、育成	館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること	専属の芸術監督やオルガニストを配置している。また、音楽・演劇・舞踏などの各分野において専門家からの指導・助言を受けているほか、外部主催の専門的研修会にも積極的に参加している。	A	専属の芸術監督やオルガニストを配置しており、外部主催の専門的研修会にも積極的に参加している点が評価できる。
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	内部研修を行い、必要に応じ、外部研修を利用しているか。	組織内部での研修実施や、外部研修にも積極的に参加するほか、自主企画事業の実施を通じ、スキルアップを図っている。	A	内部・外部研修のほか、自主企画事業の実施を通じ、スキルアップを図っている点が評価できる。
	3	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	時間外労働の協定上限超過による36協定違反があった。	C	事業の効率化等により、早急に業務体制を改善すること。

総合評価（所見）

・施設管理の面については、改修による休館期間の影響により昨年度よりは減少しているものの、総入館者数及び自主文化事業の年間鑑賞者数の目標を達成しており、評価できる。しかし、貸館の使用料については、改修工事の影響が当初の想定よりも大きい形となり、目標を達成できなかった。改修工事は30年度も引き続き実施されるため、今年度の影響を踏まえより一層の改善に励まれ、目標の達成を望む。

・自主事業については、自主財源比率についても昨年を上回るとともに、大きく目標を達成しており、非常に評価できる。

・会館会員数の確保が目標を下回っているため、今後更なる積極的な周知による目標達成を期待する。

評価基準

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。